

## 障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

### ○概 評

①非該当とした項目の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。
・事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている。
→ バリアフリーされていない箇所については、手をつなぐなど利用者に応じた支援を行っている。
・第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。
→ ほかの事業所からの職員に現状を見てもらったり、運営や文書管理など共有して行っている。
・支援終了後職員間で必ず打ち合わせを行い気づいた点を共有している。
→ 送迎の職員もいる為、支援終了の当日に振り返りを行えない場合もあるが、翌日以降に振り返りや、気づいた点、改善点など話し合い共有している。
・地域の保健、医療（協力医療機関）と連携して支援を行う体制を整えている。
→ 検査結果を共有したりチェックシートを記入したりし文書で情報を共有している。
・就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。
→ 相談員、児童発達支援センターからの情報のみで、就学前に利用していた園との情報共有は行っていない
・学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。
→ 現在まで対象者がいなかったため、情報提供の実績はない。
・放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。
→ 他の児童クラブとの交流を望まない保護者の意見もあるので、現在は考えていない。
・保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。
→ 保護者が集団で集まる機会がなく実施できていない。保護者が集まる機会があれば実施していく。
・父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。
→ 希望される方がいないので、保護者会等の開催は今のところ考えていない。
・事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。
→ 地域住民の招待は現在行っていない。地域の実情を踏まえ、夏祭りへの招待などを検討したい。
②独自に必要なと思われる評価項目等
・特にない
③項目評価を通じて気づいた点
・外部との情報交換や市、学校、各機関との連携は少しずつとれるようになってきた。
・送迎の職員もいる為、支援終了の当日に振り返りを行えない場合もあるが、翌日以降に振り返りや、気づいた点、改善点など話し合うことで共有できるようになってきた。
・イベントの持ち方を工夫し、地域住民とのふれあいの場が持てるよう模索していきたい。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
事業所のバリアフリー化	玄関周りにわずかな段差がある。今後改善が必要な場合は検討する。	継続	
児童発達センター等専門機関との連携	困難ケースについて全職員で共有し、取組の充実を図る。	継続	
緊急時、防犯、感染症対応マニュアル	広報などを通じて感染症対策や危機管理について、職員、保護者に周知する。	継続	
地域自立支援協議会等の参加	送迎時刻と重なる場合は送迎業務を交代するなど参加体制が取れるよう努力する。	終了	
第三者による外部評価の実施	学校や関係機関、他の事業所のスタッフに支援の様子を見てもらい意見交換をする。	継続	
PCのデータベースの設置	PCデータのバックアップができるよう設備を整える。	継続	